

世界の水環境保全のための国際的活動経費のうち

(拡充) 日中水環境パートナーシップ

(水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業を名称変更)

191百万円(33百万円)

水・大気環境局水 環 境 課
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

中国では、近年、下水道等の汚水処理施設や工場排水処理施設の未整備による水質汚濁や工場などの破損に伴う水質事故、水需要の増大による水不足等の水環境問題が深刻化しており、特に飲用水源等の水質保全が喫緊の課題となっている。このため、水環境分野における国際貢献の視点から、平成18年度より日中共同で中国の水質汚濁の原因分析等に係る調査、水環境に係る課題の要因分析及び対処方策の検討を開始したところである。

このような状況の中、平成19年4月の日中環境保護協力の強化に関する共同声明においても、河川・湖沼・海洋・地下水に係る水質汚濁防止に関する協力が盛り込まれたことを受け、平成20年度以降は、19年度までの実態調査結果等を踏まえ、重要水域における飲用水源地周辺等に適した水環境管理体系の整備やモデル事業による現地に適応可能な優れた水管理技術等の普及促進方策等を検討することにより、中国における河川、湖沼、地下水等の水環境保全を図る。

(注) 活用し得る日本発の水環境管理技術の例：水域別の総量規制、合併処理浄化槽技術、コミュニティプラント、膜による汚水処理技術など

2. 事業計画

調 査 項 目	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3
・水環境管理体系、水環境保全プログラム事業 実施計画策定	→			
・プログラム地区における水環境保全整備事業			→	
・水環境保全整備事業結果の解析及び波及効果の把握				→

3. 施策の効果

本事業により、中国における水環境保全の推進に加え、日中の環境協力強化が図られる。また、日本発の環境技術等が中国で普及されることにより、我が国における環境技術開発が促される。

4. 備 考

調査費 186,972千円 (内訳) 概括調査 147,306千円
対処方策検討等 24,394千円
シンポジウム開催 15,272千円

外国旅費 3,933千円

日中水環境パートナーシップ

中国における水環境問題の現状・課題

- ①下水道等の汚水処理施設や工場排水処理施設の未整備による水質汚濁
- ②工場などの突発事故に伴う水質汚染
- ③水需要の増大による水不足

水環境問題
が深刻化



「国民経済と社会発展第十一次五か年計画」(2006年3月策定)
【目標】化学的酸素要求量(COD)等主要汚染物質の10%総量削減

日本の水環境政策協力

平成19年4月日中環境協力共同声明

「飲料水源地保護を強化し、河川・湖沼・海洋・地下水の汚濁を防止し、**特に渤海、黄海区域及び長江流域などの重要水域における水質汚濁防止について協力**を実施する」

平成18年度

『水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業』開始(日中共同調査)

- ・中国北部の流域における水質汚染状況を中心とした環境状況調査
- ・水環境に係る課題分析

平成19年度

- ・長江流域等における水環境管理上の課題調査・分析及び18年度調査結果も含めた政策提言
- ・分散型汚水処理施設の評価及び導入の検討
- ・水環境管理に関するフォーラムの実施
- ・水環境管理に係る政策対話

工場等の点源からの排水対策の他、飲用水源地周辺地域等の面源汚染対策等も含めた、総合的な流域の水環境管理による抜本的な水質改善が重要であることが明らかとなってきている。

日本の経験を活かした今後の協力の方向性

工場排水対策

- ・規制の適切な運用
- ・総量規制の導入
- ・工場の管理体制の構築 等の検討に係る協力

【政策対話による協力】

生活排水対策

- ・中国において下水道整備が適さない地域等における生活排水対策の促進策 等の検討に係る協力

【政策対話及び実証調査による協力】

中国における河川、湖沼、地下水等の水環境保全の推進